

# 地域猫活動ガイドライン

## 野良猫で迷惑している

- ふん尿で困っている
- ゴミをあさりに来る
- 猫アレルギーで猫に近寄れない
- 鳴き声がうるさい
- 車の上に乗ってボンネットにキズをつける

## かわいそうな猫を助けたい

- お腹をすかせた猫に餌を与えたい
- 家で飼いたいけど飼えない
- 猫のために何かしたい
- 不妊去勢手術をしてあげたいけどお金がかかる

**共通の願いは、野良猫を減らすこと！**



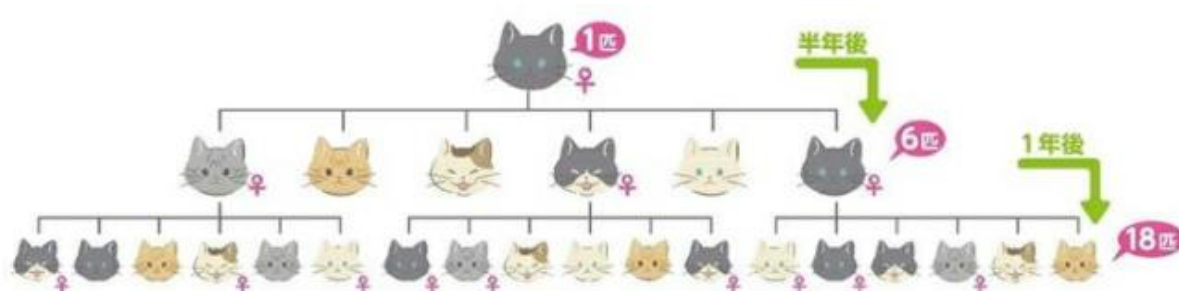
そこで！

## 地域猫活動

猫の世話をしつつ、野良猫を減らす方法です

令和8年4月改正  
白石町生活環境課

猫は繁殖力が旺盛な動物で、暖かく日照時間の長い時期になると雌猫は発情期を迎え、1年に2~3回発情します。発情期を迎えると、普段とは異なる鳴き声やおしっこによるマーキング行為が目立つようになります。猫は交尾刺激により排卵するため、ほぼ100%妊娠し、1頭の猫が1年後には15頭以上に増えることもあります。



飼い主のいない猫をかわいそうだと思う方がいる一方で、猫によるふん尿や鳴き声などにより、迷惑している方もいます。エサを与える方と、近隣住民との間でトラブルになるケースも見られます。

「地域猫活動」は、このような飼い主のいない猫の問題を「地域の環境問題」として捉え、地域住民と飼い主のいない猫との共生を目指します。

## 地域猫活動にチャレンジしましょう

地域猫活動とは、地域の住民の方々が主体となって取り組む活動であり、活動の成功には地域の方々の理解と協力が必要です。猫が好きな人だけではなく、猫が嫌いな人、猫で困っている人、みなさんの協力がなくては成り立ちません。

今いる猫をこれ以上増えることがないように不妊去勢手術を実施し、餌やりやトイレ設置などのルールを定め、猫の排除に拠らないで問題解決を図る活動です。

地域猫活動では頭数を増やさないために不妊去勢が重要になります。



## 1 地域猫とは

地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主のいない猫を「地域猫」といいます。

## 2 不妊去勢手術を行う

飼い主のいない猫は、交通事故や感染症などの危険にさらされており、寿命は4～5年とされています。地域内のすべてで飼い主がいない猫に不妊去勢手術を行えば、だんだんと数が減っていくことになります。

また、手術をすることにより性質がおとなしくなり、発情期の鳴き声やマーキングによる被害の減少も期待できます。

手術した猫には、未実施の猫と識別するために耳をV字カットして印をつけます。耳のカットは手術時の麻酔中に行われます。

## 3 ふん尿の被害を減らすために

周辺住民の理解が得られる場所に猫のトイレを用意し、ふん尿の被害を減少させましょう。定期的にパトロールなどを行い、トイレ以外での排泄物も処理、清掃しましょう。

## 4 エサやりのマナー

地域の方々に説明し、ご理解をいただいて、エサ場を決めます。エサは決まった時間に、適切な量を与え、食べ終わったらその場ですぐに片付けましょう。エサを置いたままにしておくことは、不衛生な上、地域猫以外の猫が集まるなど、ご近所とのトラブルのもととなります。エサ場の周辺は常に清潔が保たれるよう、配慮をしましょう。

## 地域猫活動のながれ

### 1 活動グループの結成

まずは、お住いの地域で現状の問題点や解決に向け話し合い、理解を得ましょう。地域猫活動を行うにあたって、活動地域に居住する代表者を中心として、地域の人3名以上を含むグループを作りましょう。

## 2 活動地域の猫の現状の把握・対象猫の特定

地域猫にしていこうとする猫が何頭いて、それぞれがどのような特徴を持った猫なのか、猫によるトラブル・問題も含め、現状や対象となる猫を把握しておきましょう。

## 3 活動ルールと計画を作成

地域の住民の十分な理解を得るためにも、活動のルールを作りましょう。ルールには、エサやり・ふん尿の処理などの場所・方法などを決めるほか、グループ内で役割分担等を決め、無理なく活動が継続できるような計画を作りましょう。

## 4 地域住民に説明、理解を得る

地域猫活動の実施には周辺住民の十分な理解と協力が最も大切なことです。周辺の人々に十分に趣旨を説明し、理解を得た上で活動を行っていきましょう。自治会や隣保班などで話し合いましょう。

## 5 地域への活動の周知を行う

地域で活動を行うことを、より多くの方に知ってもらうことも必要です。大々的に公表するといったことではなく、地域内で知らずに外飼いの猫が手術されることがないようにするためです。地域の中には、飼い猫を屋外で飼育している方もいるかもしれません。不妊去勢手術を実施しようとする猫が飼い猫ではないか、事前に回覧板や掲示板などで周知することも必要です。

実際に飼い猫を無断で手術してしまい、トラブルになることもあります

## 6 猫の捕獲、不妊去勢手術の実施

猫は早ければ生後6カ月で性成熟し、メス猫は1回に平均5頭、1年で最大3回子猫を産みます。地域猫活動には不妊去勢手術は不可欠です。手術済みの猫には個体識別のため、耳にV字カット（サクラカット）を施しましょう。手術前には、飼い猫ではないか、所有者の有無を確認するようにしてください。

## 7 飼育管理の実施・継続

水場・エサ場・トイレは地域住民の理解が得られる場所に設置し、管理しましょう。また、世話をしている猫の数、個体識別、健康状態などを、表などを作って把握しましょう。

## 8 猫の譲渡

猫を室内で飼育してもらえる新しい飼い主を探す努力をしましょう。地域猫を飼い猫にすることでより早く飼い主のいない猫を減らせるとともに、猫にとってもより良い環境で生きていくことが可能になります。

新しい飼い主へは、地域猫であったことやその習性、留意事項を正しく伝えるとともに、終生飼育および適正飼育に関する情報提供を行います。

## 9 苦情等への対応

活動地域内の住民から猫による苦情があった際には、活動代表者は誠意をもって対応し、必要に応じて相互に話し合いをもちましょう。

### 地域猫活動等の不妊去勢手術への支援事業について

#### ① 白石町地域猫活動推進事業

地域住民やボランティアにより地域猫活動団体を設置し、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し、地域住民で飼い主がいない猫による問題軽減を図る活動に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

##### ■補助金交付申請ができる人

- (1) 駐在員または区長もしくは公民館長
- (2) 住民グループの代表者 ※但し、上記(1)の方から推薦を受けた人

##### ■補助上限金額

- (1) 不妊手術費用 26,000円/匹
- (2) 去勢手術費用 13,000円/匹
- (3) 捕獲器購入費用 5,000円/器

※但し、1団体当たりの補助上限額 300,000円

【補助金交付申請書などの詳細は、町HPをご覧ください。】



町ホームページ  
(猫に関すること)

#### ② 白石町さくらねこ無料不妊手術チケット交付事業

白石町では、公益財団法人どうぶつ基金が不妊去勢手術・ワクチン・ノミ駆除薬を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、地域猫活動を行う自治会やボランティア団体と連携してTNR事業を行っています。

##### 「さくらねこ無料不妊手術事業」とは

飼い主がいない猫に対し、「TNR (Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、飼い主がいない猫に関わる苦情やトラブルの減少に寄与する活動です。



<https://sakuraneko-tnr.doubutukikin.or.jp/>

(不妊手術が行える動物病院等の詳細は上記HPでご覧いただけます。)

まずは、生活環境課に相談ください。

【問合先】

白石町生活環境課 環境係

電話：0952-84-7118